



# キク編

## 病害虫注意報 2022年4月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

### アザミウマ類対策！

気温が上昇するに従って、各種病害虫の発生が増加します。アザミウマ類、ハダニ類、白さび病の防除を徹底しましょう。



- 多発条件** ▶20～30℃で多発しやすい。  
**被害** ▶未展開葉時の加害により展開葉にケロイド状の被害が生じる。  
 ▶キク茎えそ病、キクえそ病(ウイルス病)を媒介する。  
**対策** ▶青の粘着板を利用して早期発見。  
 ▶除草剤を散布して圃場周辺での増殖を防ぐ。

## 今月のおすすめローテーション



地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合があります。ご注意ください。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

※…花き類・観葉植物登録

時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数・使用量	使用時期	回数
定植時	白さび病	inochio キクツチャ粒剤	6～9kg/10a (作条土壌混和)	定植時	1回
生育初期	白さび病	ジマンダイセフロアブル	500～800倍	-	8回
	アザミウマ類 アブラムシ類・ハダニ類	inochio セイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
消灯時	アザミウマ類・アブラムシ類 ハダニ類・白さび病	ハチハチ乳剤	1,000倍	発生初期 発病初期	4回
	アザミウマ類	ファインセーブフロアブル	2,000倍	発生初期	2回
発蕾時	白さび病	inochio オペラフラワー乳剤	2,000倍	発病初期	3回
	ハダニ類	ダニコングフロアブル※	2,000倍	発生初期	1回
破蕾時	白さび病	ポリオキシシAL水溶剤	2,500倍	発病初期	8回
	アザミウマ類・アブラムシ類	トランスフォームフロアブル	1,000～2,000倍 (アブラムシ類2,000倍)	発生初期	3回

弱った株の回復に！

### カテキンパワー 1,000倍 葉面散布

※ストレプトマイシン剤、キチン、キトサン類、カルシウム剤(ファイトカルを除く)、微量元素剤、鉄など金属を含む葉面散布肥料との混用は避ける。井戸水で、鉄分などを多く含む水での使用も避ける。



肥料登録  
生第91402号

inochio

### セイレーンフロアブル

- ▶優れた浸透移行性 ▶長い残効性
- ▶幼虫への高い効果

2,000倍/発生初期/3回

ハダニ類・アザミウマ類・アブラムシ類

<https://youtu.be/MDfBBxbyDTg>

QRコード、もしくはURLにアクセスすると紹介動画がご覧頂けます。

